

プレスリリース

平成 17 年 9 月 6 日
水 産 庁

2005 年度第二期北西太平洋鯨類捕獲調査 (JARPN-) 釧路沖鯨類捕獲調査の開始について

1 . 調査の目的

鯨類の捕食が漁業資源に与える影響に関するデータ収集

2 . 調査実施主体

独立行政法人水産総合研究センター遠洋水産研究所
財団法人日本鯨類研究所

3 . 調査期間

9 月 7 日 (水) から 1 0 月末まで (上限頭数を捕獲次第終了)

4 . 調査海域

北海道釧路市を中心とした半径 5 0 マイル以内の海域

5 . 調査参加船 :

標本採集船 : 4 隻
餌生物調査船 : 1 隻
目視調査船 : 1 隻

6 . 捕獲対象種及び捕獲上限頭数

ミンククジラ 6 0 頭

7 . 調査方法

4 隻の標本採集船がミンククジラの捕獲調査を行い、胃内容物の餌生物種の同定、内容物の測定等を行う。

餌生物調査船はあらかじめ設定された調査線上を航走し、計量魚探、トロール網を使った餌生物調査を行う。

目視調査船も予め設定された調査線上を航走し、目視による鯨類の分布、資源量調査等を行う。

釧路沖の調査は 2 0 0 2 年、2 0 0 4 年に続き 3 回目。

問い合わせ先 : 水産庁遠洋鯨類班 諸貫、大部、中村
代表 03(3502)8111 内線 7 2 4 2
直通 03(3502)2443